

川崎区の役立つ**福祉情報**をお届け～

ウェブ

平成 29 年 5 月 1 日

第 99 号

目次

- 1 賛助会員について
川崎区社会福祉協議会組織体制が
大きく変わります
- 2 あなたの身近な地区社協福祉協議会の
活動等紹介
・大師第一地区社協・大師第二地区社協
・大師第三地区社協・大師第四地区社協
- 3 ・小田地区社協・田島地区社協
- 4 ・中央第一地区社協・中央第二地区社協
- 5 ・渡田地区社協・大島地区社協
- 6 川崎区社会福祉協議会
会員について
- 7 かわさき暮らしサポーター
養成研修のご案内
こどもニコニコ(A0ハ)グッズ
ほほえみコーナー
譲ります・譲ってください

川崎区社会福祉協議会福祉パルかわさき

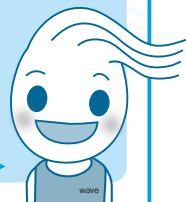
発行 社会福祉法人 川崎市川崎区社会福祉協議会 福祉パルかわさき
川崎市川崎区日進町 1-11 川崎ルフロン 8 階
電話 044-246-5500 FAX 044-211-8741 Email info@kawasakikushakyo.or.jp
川崎区社協ホームページ <http://www.kawasaki-shakyo.jp/kawasaki/>



〔発行人〕
大橋 新太郎

〔編集人〕
編集委員会

イメージキャラクター
ウェブくん



賛助会員について

社会福祉協議会では毎年賛助会員を募集しています。
賛助会員とは、社会福祉協議会の事業にご賛同していただき、資金面で社協の事業を支援して下さる会員のことをいいます。

会費としていただきました賛助会費は賛助会員一人ひとりに直接還元されるものではありませんが、皆さんの近隣にお住まいのお年寄りや、ハンディキャップのある方々への支援、明日の福祉を担う子どもたちへの福祉教育、ボランティア活動の支援など福祉活動を支えるための財源として幅広く役立てられています。

ご協力頂いた賛助会費は、8 割が川崎区内 10 の地区社協の事業に活用され、2 割が川崎区社協の事業に活用されます。



地域福祉懇談会



高齢者ふれあい会食会



地域福祉講演会

こんな事業に使われています♪

※事業は地区社協ごとに異なります



小学校での福祉教育



川崎区社協 福祉まつり



車イス貸出

*賛助会費

原則 1 口 1,000 円 (年額)
何口でもお申し込みいただけます。

*重点募集期間

6 月から 10 月まで

*加入方法

地域の地区社協役員または関係者がご協力をお願いしてお伺いします。また、区社協の窓口 (福祉パルかわさき) でも受付いたします。

※地区社協により異なります。

賛助会費は「福祉のまちづくり」をすすめる貴重な財源となっています。

「何か地域の役に立ちたいけれど仕事が忙しくて…」という方も賛助会員になることで地域福祉に貢献することができます。

社会福祉協議会の事業は地域の皆様に支えられて成り立っています。ぜひ賛助会員にご加入くださいますようお願い申し上げます。

川崎区社会福祉協議会 組織体制が大きく変わります

平成 28 年 3 月に社会福祉法人制度改革と福祉人材確保の促進を柱とする社会福祉法改正案が成立しました。社会福祉協議会は高い公益性が求められる社会福祉法人として、組織のガバナンス強化や透明性の向上等を進めるとともに、地域福祉を推進する「協議体」としての特性を発揮して、社会福祉法人・福祉施設との協働による公益的な取組を推進するこ

と等が期待されています。

本会でも、昨年度検討を重ね、地域福祉の担い手として今後以上に力を発揮できるよう、役員体制や種別会議のあり方を大幅に改正いたしました。

従来、理事 15 名、評議員 35 名で法人運営をしてまいりましたが、これからは理事 10 名、評議員 20 名体制とし、それぞれの責任・役割を明確にして統制システムを強化します。

また、年一回開催していた種別会員会議を複数回開催することにより、多くの意見を取り込み、地域の協議体として透明性を図りてまいります。

あなたの身近な

地区社会福祉協議会の活動等紹介



大師第一地区社協

賛助会費に基づく助成金の活用

副会長 渡辺 良二



藤崎地域包括支援センターの協力で体力測定会を終えてお茶飲み会を楽しむ方々

大 師第一地区社会福祉協議会は、藤崎・川中島・伊勢町・大師中町・大師駅前の五町内会からなり、賛助会員は、各町内会の社協委員が募集しています。最近では高齢化・商店の閉店や移転等で賛助会員の減少傾向が著しく、会員募集活動は、全町内会とも苦勞のついでになっています。とは言え、助成金は、各町内会における集金額実績の割合で配布されるため、各町内会で独自に活用されています。

当町内会では、近年マンション世帯数が増え、戸建て世帯数を減らしています。共働き家庭が多



子どもとドッチボールを！
ルールの説明をする町内会役員と熱心に聞く子どもたち

くなり、母親クラブは青少年と統合して児童部と名前を変更し活動してきましたが、こちらも役員のなり手がなく、活動が衰退気味です。このような事情から、何とか若い人たちに町内会の活動を理解していただきたく、賛助会費の助成金を活用し、赤ちゃんが誕生した時に誕生祝い、小学校入学時には入学祝い、そして中学校卒業時には卒業祝いをお届けすることにし、若い人たちに町内会活動に親しく接してもらい、理解・協力いただき、少しでも町内会活動に参加してもらいたいと思っています。

他にもお祭り・盆踊り大会・餅つき大会に子ども達が喜んで参加してくるよう、ゲームを取り入れたりと活動しています。

また高齢者を対象に藤崎地域包括支援センターの協力を得て体力測定会を実施し、その後お茶会で楽しんでもらっています。



私 の所属している大師第二地区社会福祉協議会は、四谷・池上新町・台町・観音の四町内で構成され、総委員五十三名で活動しています。

地区の主な活動内容は、「ふれあい会食会」で、四町内持ち廻りで行っています。予算の中で季節の食材を取り入れて、美味しい、手作り料理を考えて作っています。

「敬老のお祝い」には、七十歳以上の方に川崎大師平間寺からのお札と、地区社会福祉協議会からのお祝品を、各家庭にお届けしています。

「車椅子体験学習」では、四谷小学校四年生と一緒に、安全・安心な車椅子の取り扱いについて学習し、その後給食と一緒に頂き、食事をしながら、会話を楽しんでいきます。

「共同募金活動」は十月一日から五日まで、街頭に出て、赤い羽根共同募金のご協力をお願いしています。

「カローリング大会」では、大勢の会員の皆様と、学校の教職員、区社協、大師支所の方々に参加していただいています。会も重なり、和気あいあいとして、盛況そのものです。

このような活動に必要な財源は、主に会員の皆様の協力による、賛助会費からの助成金にて運営しております。

財源となる賛助会費を募ることは、私達の大切な活動の一つでもあります。各地区的委員がグループになり、各家庭・会社等を個別訪問して、賛助会員になっていただくように説明し、ご理解をもとめ、会員の増員に地道な活動を続けております。

これからも地域で暮らす高齢者の方が、安心して楽しく暮らせるように、地区委員の皆さんと協力して、地域福祉の貴重な財源として活用させていただきます。全力で取り組んでいきたいと思っています。

ご協力、宜しく願います。

大師第二地区社協

賛助会員にご理解とご協力を

広報部 石川 昌代

大師第三地区社協

平成 28 年度の
活動について

副会長 當麻 秀徳



認知症サポーター養成講座の様子



養成講座の寸劇の様子

私が所属する大師第三地区社会福祉協議会（通称大師第三地区社協）は、大師東部六町会と、出来野・塩浜・塩浜三丁目を含む九町内会の会長・婦人部長・民生委員・保護司・他総勢四十八名で構成されております。今年度初に行われました総会と、秋に開催し

ました研修会について活動報告をいたします。総会は平成二十八年六月十三日田町町内会館において、来賓六名と会員四十六名が出席し開催しました。席上相澤会長が後進に道を譲りたいと辞任の申し出があり受理する事になり、後任には満場一致で高木江川町内会長を選出し、新年度予算・事業計画案等の議案も審議可決し終える事が出来ました。相澤前会長におかれましては、長きに亘り第三社協のリーダーとしてのご苦勞に感謝し、御礼申し上げます。

当協議会では、二年に一度宿泊研修会を開催する慣例があり、昨年はその年に当たっており、高木新会長は就任早々実施へ向かって活動を始め理事会等で検討した結果、日程がどうする事も出来ず断念に至りました。が、研修会を見送る訳にいかず、十一月十六日十七日より福祉パルかわさき研修室において参加者三十三名で開催し、前段では地域包括ケアシステムの説明を受け、その後認知症サポーター養成講座を受講し、終了後四グループに別れ介護について意見交換致しました。

私も会員になり社協が理解出来る様になりましたが、地域の認知度は低いものと思われる。今後今まで以上に活動・組織・賛助会員等の広報活動が必要と思います。

大師第四地区社協

ふれあい型
会食について

総務委員長 近藤 正



グループが年三回の持ち回りとし、開催日前日は、メニューを決めて買出しを行い、食器類を洗い、開催日当日は、参加者全員から会費二百円を徴収します。川崎区社会福祉協議会からの助成金で賄っています。当日は、会食会構成委員と利用者さんが親睦を深め、穏やかなひと時を過ごしています。

大

師第四地区社会福祉協議会は、七町

会の町会長・民生委員児童委員・主任児童委員・各町会の婦人部長及び婦人部・ボランティア活動の代表者を構成委員としています。

総務委員・広報委員・研修委員・会食委員の各会があり、各委員会で活動しています。その一例として、『ふれあい型会食会』があり、大師第四地区内の高齢者を対象に昼食とレクリエーションを企画し、実施しています。

担当する構成委員は、三グループに分け、一

小田地区社協

オレンジリングに
こめた思い

理事・総務 仲川 紀久子

皆

さんはオレンジ
リングをご存知

ですか？高齢化が進む昨今、二〇二五年には、認知症高齢者が六十五才以上の五人に一人の割合に達するとされています。今や誰れもが関わる可能性のある身近な病気になっています。

認知症を正しく理解し、認知症の人やその家族を地域で温かく見守る活動、「認知症サポーターキャラバン」が全国で展開されています。

認知症サポーター講座を受講された方が、認知症サポーターとなり、「認知症の人を応援します」という意志を示す「目印」として「オレンジリング」が渡されます。

小田地区社会福祉協議会では、昨年十一月、京町地域包括支援センター、田島支所のご協力により、養成講座を開催することができました。約二時間の講座です。前半は、認知症について



正しく理解する講義を、後半は、寸劇をまじえ参加型の講義となり、実際にどのように声をかけをしたらよいのかなど、良い例、悪い例を具体的に体験しました。この日、小田地区では三十人の認知症サポーターが誕生しました。

認知症サポーターは「なにか」特別なことをする人ではなく、認知症の方や、かかわっている家族の方を温かく見守る支援者として、自分の出来る範囲で活動します。

一人でも多く「オレンジリング」をつけている人が増え、地域で認知症の方が、安全に、安心して暮らせる街になれば良いと思います。

田島地区社協

地域福祉懇談会

事務局長 丸野 喬敬

平

成二十九年三月二十二日(水)、

「田島地区で活動している団体等と知り合おう」をテーマに、田島地区社会福祉協議会と社会福祉法人川崎市川崎区社会福祉協議会が主催で地域福祉懇談会を開催しました。

会場としてお借りした「かわさき障害者福祉施設たじま」には、地区社協役員八名、地域で活動している団体等二十五名(保育園、こども文化センター、支援学校、地域教育会議、当事者団体、ボランティア団体、老人クラブ、民生委員児童委員協議会、相談機関、施設、病院、行政など)、総勢三十三名の方が集まりました。

今回の第一回目は、児童、障がい、高齢者、ボランティア団体等、田島地区社協エリアで活動している様々な団体等が参加し、同じ地域にどのよ

うな団体等があるか知り、それぞれにおいての悩みや問題点、何が必要なのかなど、課題を共有するための場になりました。

参加者からは「同じ地域で活動をしていながら、今まで分野が異なる他団体の活動を知らなかった！」「地域の中にこんなに多くの活動があったのかと感心した！」「この地域福祉懇談会が今後どのようなようになっていくのか楽しみです」等の声をいただきました。

第二回の地域福祉懇談会は六月を予定しており、今回の内容を踏まえ、より有意義な懇談会を開催できればと考えております。



中央第一地区社協

芙蓉会を通して
「見守り・支えあい」

理事 西川 キミ子

中 央第一地区社協では、ひとり暮らしの老人会会食を「芙蓉会」の名称で年七回開催しています。毎年四月から次の年三月迄の開催に向け、前年度の二月、概ね六十五歳以上のひとり暮らしの方、または高齢者で昼間独居の方等を、社協婦人部代表者が町内を見直して、三月には新たに参加者名簿が出来上がります。

この毎年の見直しの結果、施設に入所された方、入院されている方、認知症が進んで手助けが必要な方、外出を余りしなくなり見守りが必要な方、そしてお元気で来年度も参加していただける方等地域にいればこそその実態の把握が出来ます。それにより、自然と「地域で見守り」「支えあい」の活動につながって行くのではと思います。



さて、当地区社協の「芙蓉会」の高齢者登録人数は約百四十名、ボランティア登録者は約百十名程です。少子高齢化に拍車がかかる中、高齢者参加者は増加傾向です。

一方、ボランティアは、地域的に商店・貸し店舗・高層マンションなどが増え逆に減少傾向で、また、ボランティアの高齢化も考慮しなくてはならないのが現状です。

以上諸々の課題はありますが、これからもボランティア一同、利用者の方がそれぞれ「楽しいひと時を過ごして頂けるよう」「お料理はもとより、笑いのある催し、時には為になるお話など織り交ぜて、企画・実践していきたいと思っています。

中央第二地区社協

社協婦人部の活動

副会長 澤入 共子



ファスナーブローチ

中 央第二地区社協婦人部は、八町会と二自治会の代表五十七名を中心に活動しています。

地区社協の主な行事、犯罪の無い地域を目指して開催する「社会を明るくする運動」や、秋に行われる視察研修会に参加・協力するとともに、婦人部として年二・三回の定期会を開催しています。

日頃の地域活動の中で気づいた課題等を取り上げ、昨年三月の定例会では眠っているネクタイを再利用し、ネクタイレスを百二十本、ハンカチから可愛い肌着を三十枚作成しました。

そして地域で活動中の高齢者の集いの「ほおずき」、「おしゃべりの会」、「縁がわ」等々に差し上げました。

地域の皆さんに社会福祉協議会の活動について知っていただく良



い機会になったと思います。

五月には「地域ですすめる介護予防」をテーマに、地域包括支援センターの稲生氏にお話をいただきました。簡単な体操で、介護を予防できる事を学びました。地域の皆さんにもお伝えできると好評でした。

十月の定例会は、歌手でボランティア活動にも取り組まれている鳥屋尾明盛氏をお招きし、「歌って脳を活性化」と題してお話をさせていただきました。その後は鳥屋尾氏のキーボード演奏に合わせて全員で合唱しましたが、懐かしい歌を歌い続けるほどに声が大きくなり、そして爽快な気分になり、歌の持つ力を改めて感じました。

こうして定例会で学んだ事を地域活動に役立てて行くよう努めてまいります。

渡田地区社協

若竹会の
親子ふれあい
活動

渡田地区若竹会連合会長 佐藤 奈津美



連合若竹会では五町内が、年に三回の行事をしています。五月には、親子で音楽を楽しむ会を開催しました。ママさん

渡 田地区若竹会は、六町内でそれぞれ十世帯から四十世帯が会員となり、0才から小学校低学年の子とも達が、各町内ごとに行事に参加しています。町内会では、祭礼、運動会、クリスマス会などの行事を通じて、保護者同士の交流の場となっています。子ども達も異なる年齢の子との関わりを、楽しんで行事に参加してくれています。



音楽隊をよんで子供達の知っている曲を演奏していただき、楽しい時間を過ごしました。二回目は九月にスポーツインストラクターを講師に招き、親子体操を開催しました。三回目は十一月にミニ運動会を行いました。子供達が社協の方々と一緒に競技に参加でき、世代間交流ができました。連合若竹会では、五町内が集まる事によって、普段では関わる事のできない人達とも一緒に楽しい時間を過ごすことができます。

大変だったことは、町内会行事でのクリスマス会など子ども達の年齢や予算に合ったプレゼントをさがし回ること、出欠確認などで、返信がない事もあり、買い出しに行けない事が大変でした。年々、子どもの数が減少し、会員が少ない町内会や、保護者が働いている為、行事に参加できない世帯もあり、課題が山積みではありますが、子ども達が楽しく過ごせるよう、社協の方々や地域の方と協力をして、若竹会がより一層盛り上がるよう工夫していきたいと思っています。

大島地区社協

活動充実
老人部会!

老人部会 小野澤 章嗣



大 島地区社会福祉協議会老人部会は、八町内会・十老人会で構成しています。

活動は、大島老人いこいの家或いは各町内会館でカラオケ、日本舞踊、民謡踊り等を開催し、参加者同士和やかな会話を楽しみにしております。また、年一回日帰りバス旅行を実施し、参加者に変喜ばれています。

かす折り紙、ゲーム等楽しい会を開催しております。

傘下の老人会では、各小学校の児童の登下校時に見守り校外パトロールを長年にわたり実施しており、児童と元氣よく挨拶を交わしあいながら温かく見守っています。

月一〜二回地区内の公園及び公園周りの道路等を清掃し、綺麗になったところでグランドゴルフ、ゲートボール、ペタンク等を大勢で楽しんでいます。災害時には弱者になりがちな高齢者であるメンバーは、連合町内会が実施する地震発生想定防避難訓練に積極的に参加し、体験していざという時に備えています。

また、春秋の交通安全週間には、各傘下の町内会の交通安全推進本部のテントに詰めていることは、時間に余裕のある年寄りだからこそ出来ることで、通行人、車のドライバーに交通マナー遵守の呼びかけ活動をしています。ドライバーへ、特に幼少児・高齢者への思いやり運転の励行の呼びかけをしています。

高齢者社会を迎え、寝たきりやひとり暮らし、日中ひとり暮らし等の老人が今後ますます多くなると推測されます。私たちの友愛チームは、同世代の仲間としてこれらの方々を見舞い品持参で慰問し、激励しております。

以上老人部会の活動の一端を紹介いたしました。

川崎市社会福祉協議会会員について

社会福祉協議会は、誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりをみなさんと共に考え協力しあい、推進していく民間の団体です。地域の住民組織と、公私の社会福祉や保健・医療・教育などの関連分野の関係者、さらに地域社会を形成する幅の広い種々の施設・団体・グループ・機関によって構成されています。川崎市社会福祉協議会は、次の種別の会員により構成され、この種別の代表者をもって理事会・評議員会を構成し、区社協事業の運営を推進しています。

会員の構成

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 第1種 公私社会福祉事業施設・団体 | 第6種 障害者等当事者団体 |
| 第2種 地区社会福祉協議会 | 第7種 ボランティアグループ |
| 第3種 地区民生委員協議会 | 第8種 社会福祉に関係あるその他の団体 |
| 第4種 地区保護司会 | 第9種 社会福祉関係等行政機関 |
| 第5種 区連合町内会 | 第10種 学識経験者 |

会員一覧

川崎区内の地域福祉を共に考え協力し合い推進する会員一覧（敬称略）

- | | | | |
|----------------|--------------------|-------------------|----------------------|
| 介護老人福祉施設 恒春園 | 旭町こども文化センター | 大師第1地区社会福祉協議会 | (社福)ともかわさき川崎市育成会 |
| 介護老人福祉施設 桜寿園 | 藤崎こども文化センター | 大師第2地区社会福祉協議会 | 手をむすぶ親の会 田島支部 |
| 介護老人福祉施設 大師の里 | 日進町こども文化センター | 大師第3地区社会福祉協議会 | グループホームウィズ |
| 高齢者福祉施設 しおん | 田島こども文化センター | 大師第4地区社会福祉協議会 | 就労継続支援事業所B型ぞうさん |
| ゆずりは園 | 殿町こども文化センター | 田島地区社会福祉協議会 | ピーポーの会 |
| 川崎市ふじみ園 | 渡田こども文化センター | 小田地区社会福祉協議会 | 紙ふうせんの会 |
| ライブラリー | 浅田こども文化センター | 中央第1地区民生委員児童委員協議会 | 川崎地区母子寡婦福祉会 むつみ会 |
| ノーマ・ヴィラージュ聖風苑 | 小田こども文化センター | 中央第2地区民生委員児童委員協議会 | 大師地区母子寡婦福祉会 わかば会 |
| 更生保護施設 川崎自立会 | 渡田保育園 | 渡田地区民生委員児童委員協議会 | 田島地区母子寡婦福祉会 ひまわり会 |
| 南部身体障害者福祉会館 | 大島保育園 | 大島地区民生委員児童委員協議会 | NPO法人あやめ川崎支部 さんか会 |
| 川崎市ふれあい館 | 大島乳児保育園 | 大師第1地区民生委員児童委員協議会 | 地域活動支援センターひょうたん |
| 川崎南部就労援助センター | 小田保育園 | 大師第2地区民生委員児童委員協議会 | 地域活動支援センターなかまの家 |
| むぎの穂 | 東小田保育園 | 大師第3地区民生委員児童委員協議会 | 地域活動支援センターみなみ |
| かざぐるま | 藤崎保育園 | 大師第4地区民生委員児童委員協議会 | 地域活動支援センターあおぞらハウス |
| 鋼管通助産院 | 川崎市わーくす川崎 | 田島地区民生委員児童委員協議会 | 地域活動支援センターもくれん工房 |
| 聖美保育園 | 川崎市視覚障害者情報文化センター | 小田地区民生委員児童委員協議会 | 地域活動支援センター糸ぐるま |
| 桜本保育園 | かんのん町保育園 | 川崎区保護司会 | 地域活動支援センターサボン草 |
| あいせん保育園 | 児童養護施設 すまいる | 川崎区連合町内会 | グループホームあすか |
| 川崎乳児保育所 | 川崎南部地域療育センター | 川崎中央身体障害者協会 | グループホームあおぞら |
| 夜間保育所 あいいく | かわさき障害者福祉施設 たじま | 川崎市田島地区障害者協会 | 地域活動支援センター手作り工房ウィンドウ |
| わーくす大師 | 特別養護老人ホーム 境町フェニックス | 大師身体障害者協会 | 川崎クリニック腎友会 |
| 川崎児童自立援助ホーム 大志 | 新町しほかぜ保育園 | 川崎区聴力障害者協会 | 川崎協同病院腎友会 |
| よつば保育園 | 中央第1地区社会福祉協議会 | (社福)ともかわさき川崎市育成会 | 良友会 |
| だいしの里保育園 | 中央第2地区社会福祉協議会 | 手をむすぶ親の会 中央支部 | 地域活動支援センター大師ワークショップ |
| わーくす大島 | 渡田地区社会福祉協議会 | (社福)ともかわさき川崎市育成会 | 川崎難病患者会 |
| 大師こども文化センター | 大島地区社会福祉協議会 | 手をむすぶ親の会 大師支部 | ともだちの輪 |

NPO法人川崎市視覚障害者
福祉協会川崎支部
すまいる・はーと
デイサービス活動ボランティア
グループ「友歩会」
老人給食ボランティアグループ 梓の会
配食ボランティアグループ こぶしの会
手話サークル たけのこの会
ふれあい手話サークル
手話サークルわかば
拡大写本ペンパルの会
グループまゆ
みつわ会
配食ボランティアグループ 大師コスモスの会

高齢者配食ボランティア やまゆりの会
点字サークルスターシックス
フレンドリースペース「ハナさんハウス」
リラの会
川崎区ボランティア連絡協議会
精神保健ボランティア
グループ「パル2000」
レスパイトケア“Cozy”
傾聴ボランティア「やすらぎ」
大師四つ葉会
特定非営利活動法人NPO福祉支援
ゆうやけネット
大師コミュニティ企画委員会
白百合の会

あじさいの会
池上新町「見守り・つながりの輪」
まちのえんがわ ひまわり
まちの縁側大師
読みきかせボランティア おおきな木
華やぎ会
ふれあいの家 ひまわり
中央地区老人クラブ連合会
大師地区老人クラブ連合会
田島地区老人クラブ連合会
川崎区赤十字奉仕団
大師地区交通安全対策協議会
大師地区交通安全母の会
川崎区医師会

KAWASAKI精神保健福祉事業団
川崎区スポーツ推進委員会
川崎区青少年指導員連絡協議会
中央地区交通安全対策協議会
中央地区交通安全母の会
田島地区交通安全対策協議会
田島地区交通安全母の会
川崎市シルバー人材センター 南部事務所
一般社団法人 川崎市保育会
川崎区役所
大橋 新太郎

平成 29 年 3 月 31 日現在

かわさき暮らしサポーター 養成研修のご案内

～地域で『調理・掃除・洗濯・ゴミ出し等』の
家事支援をしてみませんか？～

かわさき暮らしサポーターは、ご近所でお手
伝いが必要な高齢者の方に、家事支援をするた
めに必要な知識を得る研修です。本研修を修了
して同行訪問をすることにより、かわさき暮ら
しサポーターとして活躍できるようになります。

日 時：7 月 19 日（水）9：30～16：45

場 所：福祉パルかわさき 研修室
（川崎ルフロン 8 階）

費 用：無料

申込み・お問合せ：

川崎市社会福祉協議会
かわさき訪問介護支援事業所
（福祉パルかわさき内）
☎ 044 - 222 - 7948

こどもニコニコ(^O^)グッズ

子育て支援事業の一環として、子育てサークルやボランティ
アグループなどの団体・個人を対象に読み聞かせ大型絵本や
ミニパラバルーン、エプロンシアターなどの貸出をしていま
す。いつもの活動で、イベントで、ぜひご利用ください！

対 象：区内を拠点に活動している団体・個人
（営利目的は不可）

貸出期間：原則 8 日以内 利用料：無料

貸し出し物品：

よみきかせ大型絵本、ミニパラバルーン、エプロンシア
ター、食育エプロン、食育パペット、布絵本、フラーフ、フイ
ンガーフラーフ、CD 音楽集、かわさきかるた

貸し出し及び返却時間：

月～土曜日 9：00～16：30（火・木は 20：30 まで）



詳細は、川崎区社協まで
お問合せください！

ほほえみ コーナー



寄付者名（受付順）

平成28年12月1日～平成29年3月31日

- 大本山 川崎大師 平間寺 様
- 桜本二丁目青年会 様
- 社会福祉法人川崎聖風福祉会・
かわさき障害者福祉施設たじま 様
- 株式会社 八洋 川崎営業所 様
- 川崎区地域女性連絡協議会
会長 青木 恵美子 様
- セレサ川崎農業協同組合 様
- 川崎競馬秋まつり 2016 実行委員会 様
- 藤代 訓子 様

福祉用具 再利用

譲ります・譲ってください

川崎区にお住まいの方々を対象に、
**ベッド、車いす、
ポータブルトイレ**等の
福祉用具を、譲りたい方と
譲って欲しい方との間で、
ご紹介しています。

現在譲りたい方から、
ポータブルトイレの
登録があります。

●お譲りいただける方は、
川崎区社会福祉協議会
までご連絡ください。

●電話：044-246-5500
FAX：044-211-8741

●メールアドレス：
info@kawasakikushakyo.or.jp